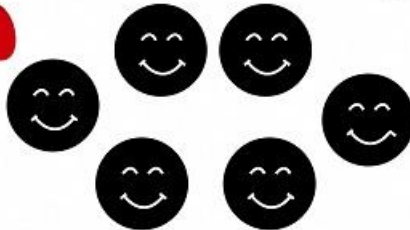
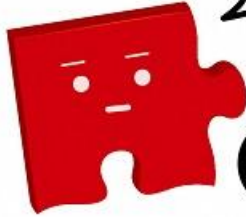


人数が多い人のことを中心に 考えるだけでいいのでしょうか？

手話ができる人ばかりの中だと、
手話ができない人は話がわから
なくて困るね



手話で会話できる人

耳の不自由な人はこんなふう
に感じているのかな・・・

誰か教えてくれ
ないかなーっ



手話で会話
できない人



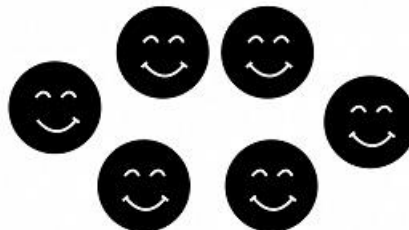
他にも色々な場面でこんなことが
あるんだろうね
どんなことがあるかな？



もし、災害が起きたら、
外国から来た人は
大丈夫かな？



日本語を話すことや
読み書きが苦手な人



日本語を話し、
読み書きができる人

子どもも難しい
言葉や漢字は
わからないよね



違いによる生きづらさがなくなるように
人も社会も変わっていかないとね！

たすうは しょうすうは 多数派・少数派

人は、自分が多数派（または、優位にある立場）に属していることに安心を感じるところがあります。多数派に属しているときは、少数派（または、優位でない立場）が感じている困りごとや、困りごとが生じていること自体にも気づくことができない場合があります。そもそも、自分が多数派に属していることに気づくことができないかもしれません。また、多数派の意見が正しいと思い込みがちですが、決してそうではありません。多数派の数の圧力で少数派の意見を無視することは、差別や排除につながります。

誰もが多数派に属することもあれば、少数派に属することもあり、少数派に属したからといって、我慢を強いられるものではありません。多数派の人にとって生きやすい仕組みに少数派の人が合わせることは多くの困難がありますが、少数派の人にとって生きやすい仕組みを多数派の人が共用することには、それほど困難はないはずです。エレベーターや点字ブロック、車いすユーザーも使いやすい自動販売機などもその一つです。多数派であっても少数派であっても生きやすい世界は、自分にとっても、誰にとっても、生きやすい世界と言えます。

■ 自分の周りにおけるユニバーサルデザインを探してみましょう。

ユニバーサルデザイン

バリアフリーは、障害によりもたらされるバリア（障壁）に対処するとの考え方であるのに対し、あらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種などにかかわらず多様な人びとが利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方